

2018 August

8

オレンジホームの
なつやすみ



アーチダムカレー
おいしかったよ 五十嵐久



題字 五十嵐久

おひさま

通信

No. 343

2018年 8月号

社会福祉法人みぬま福祉会
川口太陽の家・アトリエ輪

川口太陽の家

〒333-0831 川口市木曾呂 1 3 7 4
kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-294-0955 FAX 048-294-4458

アトリエ輪

〒333-0831 川口市木曾呂 8 9 - 4

TEL 048-299-9156 FAX 048-299-9157

川口太陽の家・工房「集」

〒333-0831 川口市木曾呂 1 4 4 5
kobo-syu@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-290-7355 FAX 048-290-7356

http://kobo-syu.com

オレンジホーム

〒333-0831 川口市木曾呂 2 4 9 - 1

TEL 048-298-1796 FAX 048-298-1796

各事業所の詳しい様子はみぬま福祉会公式ホームページをご覧ください。
<http://minuma-hukushikai.com>

🔍 みぬま福祉会

温々作品展

7月24日(火)～8月12日(日)まで、さいたま市見沼区丸ヶ崎にある cafe & gallery 温々で、工房集のグッズ展が開催されました。

昨年に引き続き、今回もステンドグラスがメインという事で、あおぞら班では7月に入ってからさらにピッチを上げて製作に取り組みました。

今回出展予定の新作の中に、伊藤裕さんの“ミニミニ山手線”や三羽勇二さんの“モテキ電車”などのユニークな乗り物シリーズがありました。

展示をジオラマ風にしてみると、さらに作品の持ち味が生きるので、職員と仲間で話しました。昔の伊勢川秀穂さんの大きな車の作品にも再びスポットを当てることもできるし、今までは少し違う見せ方に挑戦してみてもいいんじゃないかということになりました。

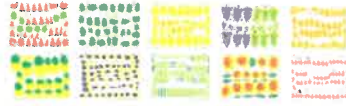
あおぞらの部屋の真ん中に大きな板を用意し、みんな思い思いに自分の作品の見せ方を考える時間を作ると、真剣半分、おふざけ半分で、マジックで絵を描きこんでいました。動物の作品を作っている栗田さんは、柵と門を描いて、逃げ出そうとする動物や、興味を示して中に入って来ようとする動物を演出したり、三羽さんは思い入れが深い新越谷駅を、伊藤さんが描いた山手線の中央に強引に線路で繋げ、自分が作った“モテキ電車”を走らせてグフグフ笑ったりしていました。

今回の温々の作品展でその見せ方が全て実現する事はむずかしかったですが、あおぞらの部屋でそうやってみんなと話せた時間はとても貴重で、一人ひとりが作った作品にどんな思いが込められているかがよく分かりました。ステンドグラスのような立体作品の強みをもう一度よく考えて、仲間のイメージーションの世界が見る人により分かりやすく伝えるよう、職員として“見せ方の工夫”をこれからも考え続けていきたいと思います。

(小川)



ポップクリエイティブ展



7/17〜7/29の期間、工房集にて作品展「ポップ・クリエイティブ・ライフ」が行われました。今回は見る人がハッピーな気持ちになるポップでクリエイティブな作品がみぬま全体から集まりました。集まった作品は絵画だけでなく刺繍やステンド、立体作品など様々です。

今回の作品展に合わせて新しいグッズを作りました。ペンケースはマチがついた新しい形になり田中さんの茶太郎と大倉さんのパイナップルと赤色リング、青色リングがデザインに使われています。新作のシールのデザインに尾崎さん、大倉さん、武石さん、岩井さんの作品が使われました。今回の作品展限定販売で大倉さん描き下ろし BEAMS コラボ商品のTシャツと手ぬぐい、は好評で売り切れとなりました。川口太陽以外の仲間の作品では大宮太陽の田島さんのオリジナルフォントの文字作品は解読できるとおもしろく『デ・ポン!』と解読できた時は「なるほど」と驚きました。「タイヤ二つに窓二つ」一見すべて色が違うだけの同じ車に見えますが、一つ一つ車種が決まっている同じく大宮太陽の小笠原さんの作品もおもしろいです。(富崎)



陽だまりの中より.....

～今月の各班の想い～

じゅうに

7月31日に東京国際展示場で行われた印刷業界のイベントに前田さんの絵が飾られるということで早速行ってきました。前田さんの絵は分割して一斗缶に印刷され、それを積み重ねることで一枚の絵になる様に飾られていました。大きなブースに入ってすぐに作品があり、色が綺麗なのはもちろん、一斗缶に印刷してあることで格好良さも加わり迫力十分で見事でした。自分の作品を前にして感動で涙する前田さんの隣で私も鳥肌が立つ良い経験をさせて頂きました。(寺崎)



サンだいち

8月3日(金)さんだいちの部屋にて高野さんの歓迎会と打ち上げを行いました。なんと今回は寿門飯店から春巻きと餃子とジャージャー麺を注文し、みんなで頂きました^^

お忙しい中で注文を受けて下さり本当にありがとうございました!!!!

室内の装飾も中華風にし、仲間達もいつもと違う雰囲気を楽しんでいるようでした。

(津畑)



めーべ

8月23日に、職員と渡邊あやさん、納田さん、阿部さんの4人で、田端にある「シネマチュプキ」という映画館に「この世界の片隅に」を観に行きました。「シネマチュプキ」さんは、毎月映画の上映チラシの表紙に工房集の仲間の作品を使用してくれています。映画のテーマに合わせて仲間の作品を選んで、とても素敵なチラシを制作していただいています。どのような作品がチラシになるのか、毎月とても楽しみです！皆様もぜひ行ってみてください。

(渡邊さ)



あおぞら

8月1日に夏の打上げを行ないました。今回はみんなでミニパフェ作り。今年度初めの話し合いの中で、調理実習をやりたいという声があり、やってみることに。1ヶ月ほど前から話し合いが始まり、どんなパフェにする？装飾もやったら楽しいと思うな…などなど、色んな意見がでました。トッピングについてはたくさん意見が出たので、パフェは3段に分けて1つの段に2～3種類好きなトッピングが出来るようにしました。

いざ打ち上げ。ミニパフェとはいえ、きっと生クリームやフルーツ缶などたくさんトッピングするんだろうな～と思いきや、意外にもカップの7分目弱とみんな控えめ。こちらから追加してトッピングするほど。それでも自分たちで作ってみんなと食べるパフェは美味しかったようで、楽しそうな表情がたくさん見られました。(園部)



きらっと

集で行われたポップ展に、出展している仲間と一緒に見学に行ってきました。壁全体を使って並べられた自分の作品を、とても嬉しそうな顔をして見ていました。日中久々に外出した仲間は、集の空間で仕事をしている仲間の姿を見るのも楽しそう。他の仲間の作品も興味深そうに見ていました。その他温々やスタバの出展もあり、作品作りに活気が湧いてます。

(志村)



青年隊

みんなできゅうしょくのおいしかったおかずをはなしあいました。こんど1いをきめたいとおもいます。(伊藤 裕)



オレンジホーム

太陽の家がお盆休みで帰省した仲間もいましたが、半数以上の仲間たちはホームで過ごしました。スタッフと一緒に買物などに出かける仲間や、一日を甲子園に見入っている仲間といろいろです。

そんな中、久しぶりに外食に出ました。13日夕食は家族連れでとても込み合っています。順番待ちで何とか食べる事ができました。そして、翌朝は牛井屋さんの朝定食です。いつもとはちがう朝ご飯を食べて、またホームに戻りまったり過ごします。ずっと甲子園の歓声がホーム内に響き渡っています。暑さでグッタリした仲間と甲子園の歓声と蝉の声は夏のホームの風物詩です。

(野崎)

授産報告（8月）

<収入>

種目	金額	摘要
ウエス	44,600	
織り	16,000	
絵画	180,205	
詩	0	
古本・古着	400	
粘土製品	0	
ステンドグラス	38,250	
ダンボール作品	0	
和紙・木工	1,700	
牛乳パック	47,100	
その他	0	
給与の為、通帳からの繰入	247,270	
前月からの繰入	164,027	
合計	739,552	

<支出>

項目	金額	摘要
賃金	245,490	
賞与	380,000	
材料費	3,250	
経費	0	
その他	16,326	
通帳への繰入	94,486	
作品展準備金	0	
合計	739,552	

～今月の新作～



アートパネル

荒井堯（あおぞら）

8月 予定表

		施設	法人・後援会・暮らしの場			施設	法人・後援会・暮らしの場
1	水			16	木		
2	木		施設運営担当者会議	17	金	↓	
3	金			18	土		
4	土	休み	全障研全国大会in川越	19	日		
5	日		↓	20	月	代休	
6	月			21	火		
7	火			22	水	ふらっと	暮らしの場仲間部会
8	水			23	木		
9	木		家族会役員会	24	金	業務責任者会議	
10	金			25	土	職員会議	
11	土			26	日		
12	日			27	月	工房集運営会議	暮らしの場資金作り部会
13	月			28	火		
14	火			29	水		
15	水			30	木		
				31	金		かすかな光へ上映会

施設長より

世間がロシアW杯のコロンビア戦大迫勇也の半端ないゴールに沸いていた6月下旬、川口市障害福祉課蛭名課長補佐より、暮らしの場責任者：薄衣の携帯に国庫協議書の内示が出ましたとの吉報が入りました。私たちがこの間、国や自治体に対して川口市内に新たな「暮らしの場」の整備を公的責任として保障することを要求してきた成果で、国が地域移行の名のもとに入所施設をなくす方針の元、みぬま福祉会の粘り強い運動が実りました。

7月18日（水）に緊急で開催された「暮らしの場全体会」には、記録的な猛暑の中、みぬま福祉会外部の方も含め、150名を超える参加者が川口太陽の家・作業室に集まり、文字通り熱気溢れる会となりました。

国庫協議の内示が降りた事に伴い、これから来年4月の開所に向けて、急ピッチで準備が進められていきます。まずは入所選考における希望調査として、川口太陽の家・アトリエ輪でも全家族を対象とした「新規開設入所施設への利用希望聞き取り調査」を実施していき、施設利用者の決定の時の重要な根拠にしたいと考えています。みんなの夢がいよいよ実現に向けて動き出します。

**“みぬまの力、半端ないって！
みぬまの運動、半端ないって！
入所施設、建設するんだもん！
そんなんできひんやん普通！”**

（川口太陽の家 黒田徹）

～後援会からのお知らせ～

<「かすかな光へ」上映会>

日時：8月31日（金）

場所：障害者交流センター ホール

参加費・資料代：一般1000円 小・中・高生500円

障害者500円 付添者500円 幼児無料

（プログラム）10：30～12：00 第1回上映・終了後交流

18：30～20：00 第2回上映・終了後交流

【今後の予定】

- ・三役会 8月28日（火） 交流センター 10：30～
- ・役員会 9月20日（木） 交流センター 10：30～
- ・広報部（企画）10月2日（火） 交流センター 10：30～
- ・カフェ 9月3日（月） 川口太陽の家 13：00～
- ・コンサート実行委員会 9月5日（水） 川口太陽の家 10：30～

インフォメーション

○シネマ・チュプキ・タバタ(映画館)

・上映映画のチラシに8月は渡邊あやさんの作品を使用。

9月は横山明子さんの作品を使用。

○「はすの実作品展」

会期：9/3(月)～9/16(日)

会場：工房集ギャラリー

○「Magic Number 2018 vol.1～夏の終わりの始まりに～」

会期：8/30(木)～9/30(日)

出展作家：箭内裕樹、渡邊あや、西川泰弘、XL、水野貴男

会場：Arts and Creative Mind Gallery(渋谷区恵比寿)

○埼玉県障害者アート企画展

会期：11/23(金)～11/25(日)

会場：ソニックシティ

色鉛筆(๐)♪

こんにちは。今回は乳牛についてお話ししたいと思います。なぜいきなり牛の話をするかというと、私の大学は農業学校で、専攻は異なりますが1年間北海道にある牧場で研修した経験があります。毎朝4時に起きて、乳搾りをしたり、牛の出産を手伝ったり、牛の色々な世話を1年間しました。

皆さん、牛の乳首はいくつあるのかご存知ですか？当たり前知っている方もいると思いますが、意外と知らない方もいるみたいです。正解は4本です。4つの乳房からおいしい牛乳を搾り、皆さんの朝の食卓に来ているのです。地味ですが、次回も問題を出しましょう。お楽しみに。

(サンだいち：安)

娘の小学校にて夏の恒例行事「デイキャンプ」がありました。私もおやじの会で主催側として参加しました、例年は8月の最終土曜日に催行していましたが今年は1週間倒して行った為、親御さんを含め総勢147名と過去最高の参加者に大変驚きました。

学校の校庭を使用して今年は12班に分かれてのカレー作り、野菜を切ったりお米を研いだり、カレーを作る為にブロックを使っただけの火かまど作りと全て子供を中心として飯ごう炊飯をします。具材は全て私どもで用意するのですが、隠し味としてチーズやカツオ節変わった所でマーマレード、パイン缶と1班2種類を抽選で必ず入れなければならないと言うルールがありカレー作りをする前から子供達はドキドキです(笑)

カレーを食べたあとは片づけをしっかりとて日が落ちてきてから花火をします、初めて手持ち花火をやるという子供もいてとても喜んでいて事がとても新鮮でした。

飯ごうでご飯を炊いたり、包丁を使っただけの調理は子供にとっても良い経験だと思います。来年はさらに多くの子供達に参加してもらえるように活動にしたいと思った夏の思い出です。

(サンだいち：高野)

入職して1年9ヶ月となりました。今年の4月より緊急に対応出来る様、仲間の情報ファイルを整理しています。その中で看護師として気になった点が、いくつかあります。急変時の搬送・家族への緊急連絡先、連絡が取れなかったらどうするのか。行きつけの病院が入院出来る病院なのか。どこまで医療行為をして良いのか。入院出来る病院と連携が出来ているのに病院のID(診察券)が分からない。もし入院出来る病院と連携が出来てなければ何かのタイミングで診察し、カテを残しておくのが賢明です。薬事情報や必要書類等、期限切れなど情報が少なく困っています。また、ご家族の体調が良くない時、協力してくれる人はいるのか。仲間も心配ですが家族も心配です。家族の元気がなければ仲間も不安になります。情報を上手に伝えられない事で服薬調整が重要になります。また、健康診断の結果を主治医と連携しているか。基準値から外れていなくても徐々に悪化傾向な仲間もいます。その時点での予防が大切です。基準値から外れてしまい、薬のコントロールが始まると副作用が気になります。これまで看護師は報告待ちでしたが、新しい入所施設のことも想定して、例え通所施設でも看護師の視点がさらに必要に思っています。

他にもリハビリは週1～2回やれば良いのではなく、生活に必要な動きを常に行わないと機能低下します。リハビリの指導は月1回しかなくても生活リハビリが週2～3回行っていくことが大切です。普段の生活の中で仲間が希望する行為を予測してやっていますか？(機能低下します)伝えたい事が何か？予測してお喋りを止めていませんか？(喋れなくなります)今日は、どこまで動けるのか？動けないフリなのか？最後まで話を聞いてあげていますか？ちょっとした事で生活機能レベルを少しずつ低下させてしまうこととなります。ご家族も職員も、仲間たちにどう伝えて行くのか工夫が大切だと感じています。

(じゅうに：栗田)